



ニューヨークレポート

高教組は、五月、NTP再検討会議がおこなわれたニューヨークに高教組背青年部長坂本智香さんを代表派遣しました。今回はその報告を紹介します。

「智香ちゃん、ニューヨーク(NY)に行かん？」

高教組委員長のその一言から、私のNYへの道は始まりました。気がつく、私は「行きたい」と答えていました。そう思えたのは、高教組青年部の活動を通じて私自身の視野が広がったおかげだと思えます。NY行動への参加を決意すると、高教組青年部は夜遅くまで機布を一緒につくってくれ、県労連青年部も激励会を開いてくれました。そして、たくさんの高教組の先輩方から激励やカンパ、署名への協力をいただくことができました。多くの方の支えを受け、私は五月一日にNYへ飛び立ちました。

NY到着翌日は、待ちに待ったパレードでした。約一万人が参加したパレードは、タイムズスクエアを何プロックも埋め尽くしました。人生初のパレードはとてもワクワクし、シユプレヒコールも楽しく、私を笑顔にしてくれました。パレードに対する街行く人からの注目度は高く、パレードをする人と市民の垣根が低く感じました。道を走る二階建てバスや街角にいる人に手を振ったり、「ハイ！ハイ！」と声をかけたりすると、手を振り返してくる人、「Good job」と声をかけてくれる人が多くいました。タイムズスクエアから国連までの道のりは長く、歩行補助杖を持つ私の手のひらの色は変わり、とても痛みました。正直、最後まで歩くことは無理かもしれないとも思いました。しかし、私が歩いていると本当に多くの人が声をかけてくれました。それにより、私は自分が起こした行動が周りの人の心に小さくてもなにかしらの印象や影響を与えていることを感じる事ができ、それなら私はがんばって平和を願うなら歩ききろうと頑張ることができました。そして、途中で休んだ時間も今振り返ると素敵な出会いを生み出した。私が疲れて休んでいると同じように休んでいる人の多くは外国の方でした。そして、道端やベンチと一緒に座り込みながら言葉を交わすことができました。国連に辿り着いた時には、本当に感動しました。

五月三日には公開シンポジウムがあり、エジプト軍縮大使など各国のパネリストの話を聞くことができました。そのなかで、私は核のない世界、核を使えない世界を実現していくのは、核に対して「NO」と言い続ける私たち一人一人の声の力だということを実感することができました。また、日本人として行動することの重要性を感じる事ができる会議でした。

四日の教職員交流集会では、マーシャル諸島のアバツカさんから、ピキニ水爆実験によるロンゲラップ島の被害を聞くことができました。アメリカという大きな国の政策により、生まれ育った島を人が住むことができない島にされてしまう実験。何も知らされず奪われる命。ピキニ実験では高知の漁船も多く被爆しています。一つの国が核兵器を持つために、様々な国の人が犠牲になっている現実を改めて考えさせられました。

NYでの経験により、私は心から「核兵器のない平和な世界を実現したい」と思うようになりました。そして、それは私たち一人一人が声に出し、行動しなければ実現するができないということを学びました。私がNYに行くことができたのは、応援してくださった周りのみなさんのおかげだと実感しています。ありがとうございました。



休憩中に出会った米国の若者達と(右端 坂本智香さん)

幡多の交流会

橋元 陽一

五月二十九日中村市で、高教組幡多支会(以下)の後に、恒例となっている現職と高退協の仲間二二名が集まり懇親会が行われた。

山下博史幡多支部長が、一〇分会では、組合員が減少しているが、それぞれの課題に取り組んでいる活動を交流し、二〇一〇年度校教組方針を確認したと挨拶された。続いて、小野昭代表の乾杯の音頭で開宴となった。今年退職された宮崎吉隆さんは「自由になった時間で暮らして旅を堪能している」と退職の挨拶をされた。さらに参加されたそれぞれの高退協の皆さんが近況報告を行い、現職との交流を深めていった。

熊野巖さんが「高教組はこれまでにも組合員が少ないときもあれば多いときもあった。少ないときは少ないなりに、一人の組合員がいくつも役割を背負って活動してきた。組合員が少ないからと憂えることはない。必ず仲間は増える。」と、現職を励まされたことばが印象的でした。現職と高退協の方々との返盃の連続で中村の夜は更けていった。また幡多では長い間、小野昭さんが代表として高退協の

仲間と呼び掛けて、年一回の懇親会を企画され交流の機会を企画されてきた。昨年、辞退の表明があり、後任として森本宏さんが代表に、副代表に津野幸右さん(中村担当)、松岡 幸さん(宿毛担当)、澳本準一さん(大方)の四人体制ができて、活動に取り組んでいくと紹介され、小野さんへの謝意と四人への激励の拍手に包まれた。

主な活動と参加

- 五月
  - 六月 二〇一〇年度第一回事務局会議
  - (ニユース五月号発送)事務局歓迎会
  - 八日 輝け 日本国憲法！県民のつどい
  - 九日 原水爆禁止国民大運動・四国コース出発式
  - 九日 故 山本誠一 葬儀式
  - 一一日 県革新懇代表世話人会
  - 一四日 県高運連幹事会
  - 二二日 県退職教職員協議会 第三十回定期総会
  - 二二日 県高齢者運動連絡会総会・学習講演会
  - 二二日 山原健二郎資料室友の会 二〇一〇年度総会
  - 二二日 国民救援会県本部講演会
  - ・二〇一〇年度総会
  - 二三日 見直せ！米軍再編 5・23岩国大集会
  - 二五日 西田令子 切手遊覧展
  - 二五日 後期高齢者医療制度 廃止実行委員会
  - 二九日 第一回戦争遺跡保存シンポジウム
- 六月
  - 一日 第二回高退協事務局会議
  - 三日 NPT報告・平和交流会
  - 五日 県原水協二〇一〇年度総会
  - 六日 山の会・参勤交代の道と坂本龍馬先祖の墓訪問 高知市母親大会五〇回記念のつどい
- 七月
  - 七日 全退教第二〇回定期大会
  - 八日 県革新懇代表世話人会
  - 一五日 第十七回後期高齢者医療制度の即時廃止を求める昼休み集会
  - 一七日 全退教四国地区代表者会
  - 一八日 県高運連幹事会
  - 三〇日 高退協ニユース七月号原稿締め切り
  - 七月 二日 高退協ニユース七月号編集委員会